

信州住まいのわくわくフェア 2025

ー建築模型をのぞいてみようー

「信州住まいのわくわくフェア」は、住宅メーカーや工務店、建築・住宅設備関係企業などが参加し、最新の住まいの技術・設備、建築スタイルや、家づくりのノウハウを紹介する展示型イベントで、6月21日、22日の2日間ビッグハットにて開催された。信州大学からも建築学科だけでなく、複数の研究室が出展し、研究内容を紹介した。

添景

ブースを隔てるパーテーションや来場者の添景を配置し、イベント当日の様子を再現した。

屋根

トラスの形状に沿ってスチレンボードを曲げることで「ビッグハットらしさ」を表現した。

屋根トラス

図面を読み取り CAD でモデル化した後、3D プリンターで制作した。微妙な角度の調整に苦戦したが、屋根の完成により模型のリアリティが一気に増した。

内装仕上げ

スチレンボードに切れ込みを入れ、アルミパネルの折れ曲がった断面形状を再現した。横縞模様は竹串を細く削って表現した。

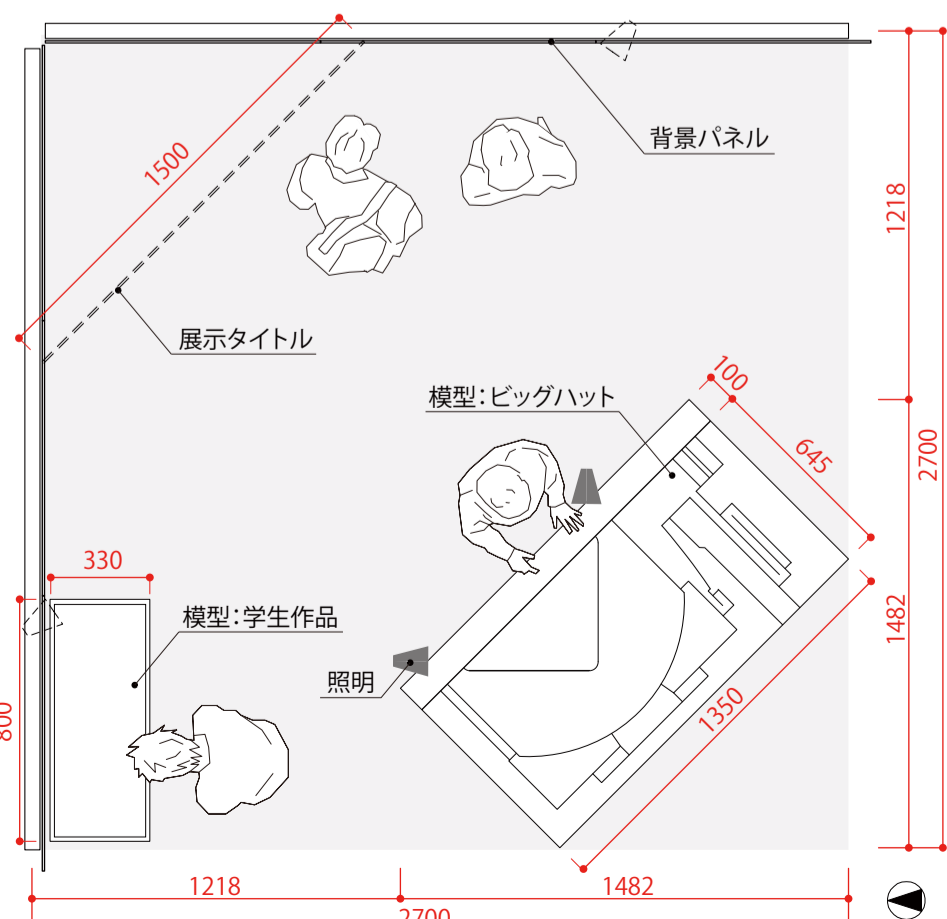
客席

断面図から階段部の詳細な造りを読み取り、部材の取り合いを意識しながらスチレンボードを組み合わせた。



長野市若里多目的スポーツアリーナ 1/100 断面模型

ブース計画 - 建築模型をのぞいてみよう -

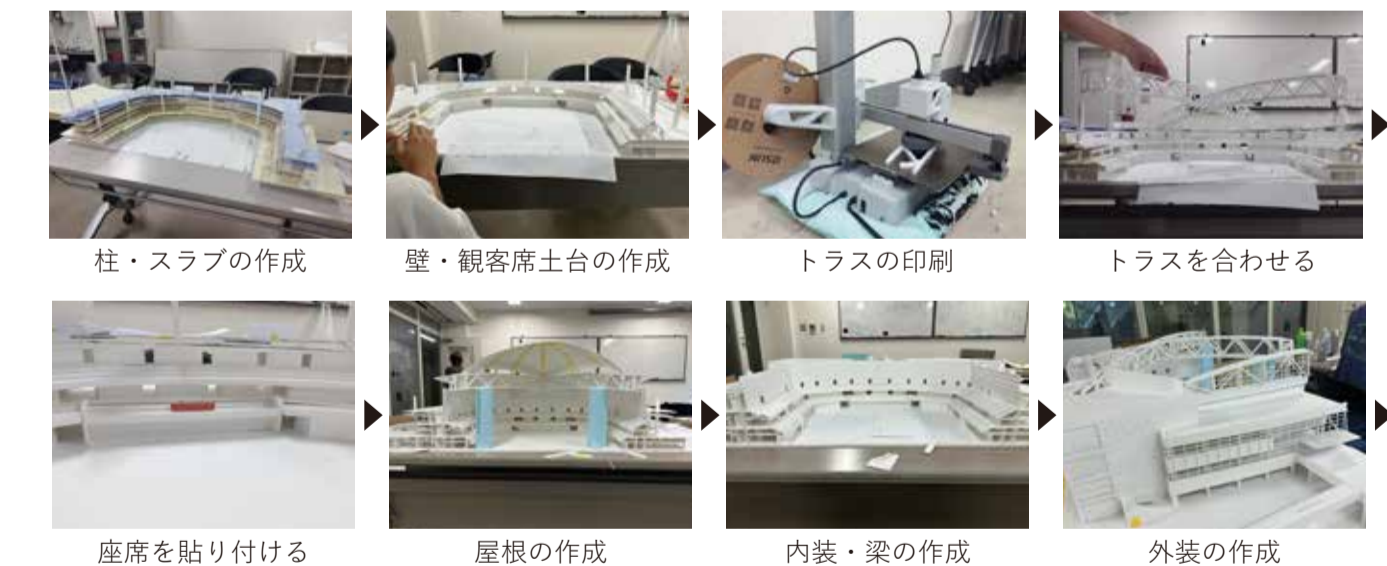


イベントに来てくださった方々に、建築学科の活動を紹介すると同時に、建築模型の魅力を知っていただきたいと考え、模型展示と模型に関する装飾を行った。

断面模型の制作

ビッグハットの1/100断面模型を、寺内研究室の3学年合同で制作した。ビッグハットを東西方向で切り、南側を残し、模型の断面を見たときに、背後に同じ景色が見えるように計画した。ビッグハットの特徴である大きな帽子のような屋根とトラスを再現することに特に苦戦したが、3Dプリンターを用いながら工夫を重ねた。内部はパーテーションなどの添景を配置しイベント当日を再現したことで、来場者に臨場感を与える模型が完成した。

制作過程



展示背景 - 断面模型ってなに？ / 信大生にきいた模型のあれこれ -

展示背景は、模型に関する装飾を行った。「断面模型ってなに？」では、建築模型を知らない方にもわかりやすいように実際の断面模型を用いて説明を展示した。「信大生にきいた模型のあれこれ。」では、信州大学工学部建築学科3年、4年、大学院修士1年、2年、OBにご協力いただき、それぞれの学生時代の模型作品の写真と模型に関する質問に答えていただいたものを展示した。信州大学生にとって模型とは何か、模型へのこだわり、模型との思い出の3つの質問についての信州大学生の回答をまとめた。多くの模型写真や意見を比較することで建築模型の表現方法の豊かさが実感でき、信州大学生の模型に対する想いを知ることができるものとなった。

